



民児協こもろ

～民生児童委員は市民の皆さんに一番近い相談相手～

編集 小諸市民生児童委員協議会 広報部会

第24回長野県民生委員 児童委員大会に参加して

県大会は3年に1度開催され、今年は7月25・26日の2日間で、私は1日目に参加をしました。

開会のことばから始まり、民生児童委員の信条の朗読、主催者、佐久市の柳田市長の歓迎のあいさつがあり、続いて長野県民生児童委員協議会連合会会長表彰では、永年勤続民生児童委員10名、永年勤続民生児童委員協議会長23名、優良単位民生児童委員協議会4団体が表彰されました。



連合会会長表彰

優良単位民生児童委員協議会では、小諸市から南大井地区の皆さんが表彰されました。これら表彰された皆さんは、長年に渡りのご

苦労があつてこそその表彰だと思ひ頭が下がります。大変ご苦勞様でした。

記念講演は「一流の人材が育つ環境作り」〜今と昔〜と題して、佐久長聖中学・高等学校校長の佐藤康先生のお話を聞きました。

教員をしながらの柔道指導者など色々な経歴のお話をしてくれました。柔道部の総監督となつてからは、技術指導より環境作り、個人管理、自分で目標設定をする、根性論は終わった、根性論では世界では勝てない、練習で泣いて試合で笑えとのことでした。

先生のお話を通して、保護者と教師の関係、生徒指導「いじめ」の問題等はどうな学校でも起り得る状況

だそうで、常に日頃よりの信頼関係が大切であるかと強く感じました。

西部地区 田邊明夫



記念講演・佐藤康先生

一期目を振り返って

平成28年12月1日付にて厚生労働大臣の委嘱を受けて民生委員、児童委員としてスタートしてまもなく2年半になろうとしています。

川辺地区は少子高齢化が小諸市の中でも急速に進んでいます。

川辺地区では、ほとんど1期目というメンバーの中で地区会長も兼ねました。

民生児童委員協議会の理

事として毎月定例会があり、この結果を地区会にて伝達するという繰返しでした。

最初の年は市、県等の研修会、会長研修会があり民生委員児童委員としての流れを理解することができ、活動する上でのポイントになりました。地区会長を兼ねていることもあり、まず川辺地区の全体がどうか確認する必要があり毎月1回の地区会が他の民生委員から意見を聞くコミュニケーションの場所でもありました。

又、私の区へ目を向けると健康達人大久保区らぶ等のまとめなど、区内の全体としての状況を得るよう努力しました。

民生委員の仕事は、地区内の問題を解決するのではなく、関係機関へ把握した情報をつなぐ事が役目と考えています。

大変な面もありますが、一期目からでも活躍できると思います。

川辺地区会長 佐藤信夫